



西川中
卒業式

きっと、忘れられない春になる



西川小
卒業式

新型コロナウイルス感染症対策により
時間や規模を縮小しながらも、卒業生たちを心から祝福し送り出しました。

西川町議会だより

112号

2020.4.15発行

山形県西川町議会



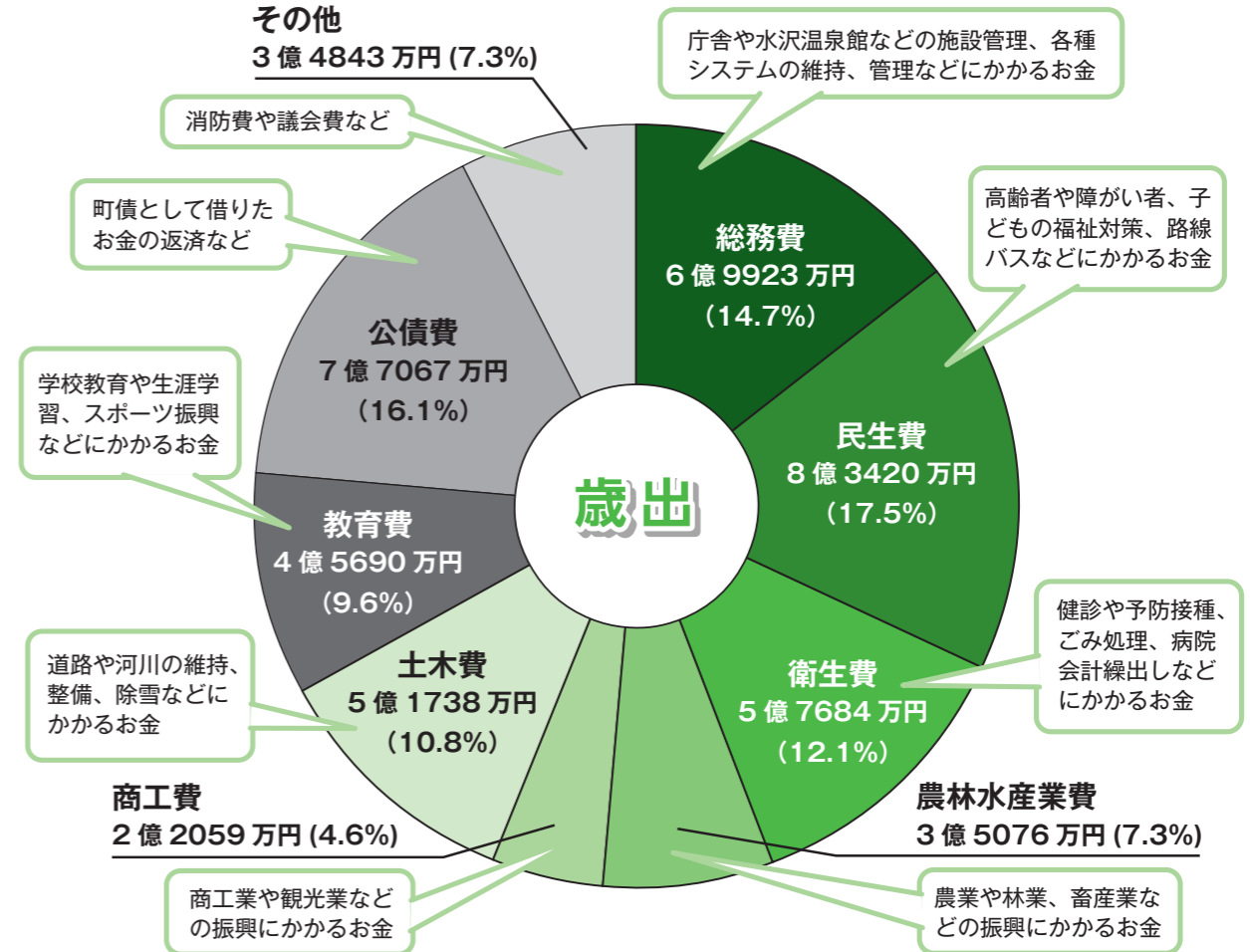
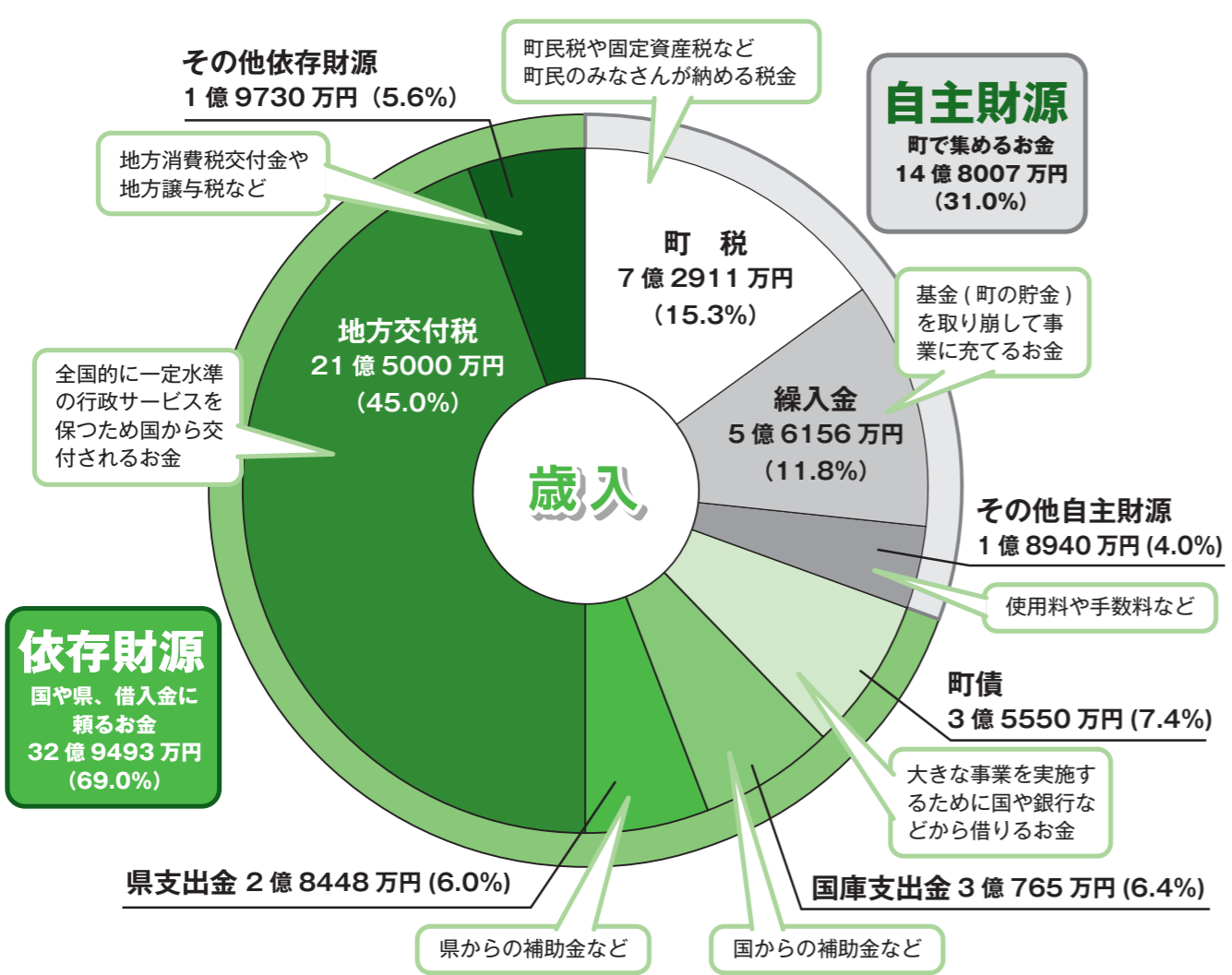
※上記QRコードをスマートフォンなどで読み取ると、議会ホームページにアクセスします。

より一層効率的な歳出を……………	2頁
なぜ1億円以上の減額補正予算か……………	4
誰のための何のための予算なのかを問う……………	6
もう一步ふみこんで問う……………	8
7人の議員が町政をただす……………	10
令和2年度の政策提言に向けて……………	18
新しい対話の形を学ぶ……………	19
知りたい!聞きたい!……………	20

より一層効率的な歳出を

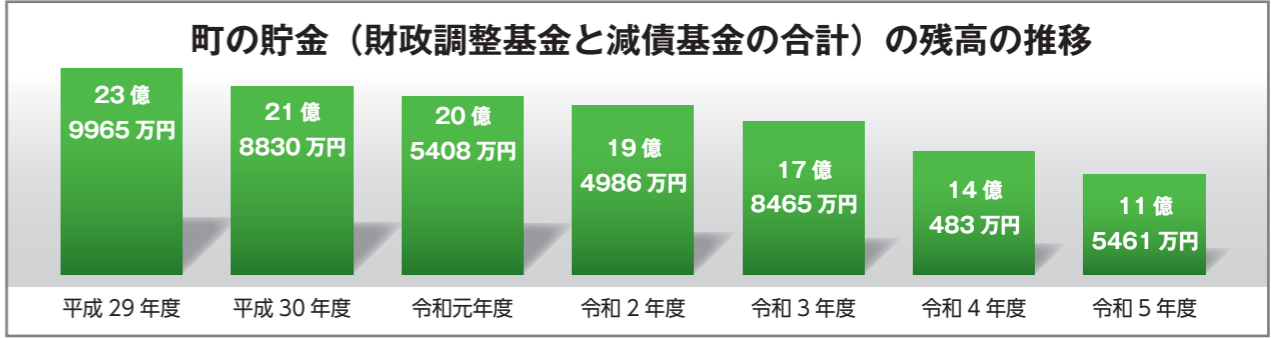
令和2年度一般会計予算 47億7500万円 を可決

2年度の一般会計予算は、歳入歳出の総額がそれぞれ47億7500万円で、前年度と比較して5500万円、1.1%の減です。町民体育館や防災行政無線整備の際に借り入れた町債の返済が始まるため公債費が7億円を越え、人件費と合わせると予算全体の36.6%を占めます。この状況が数年続き、財政の硬直化をさらに招くものと予想され、より一層効率的な歳出が求められます。



特別会計・企業会計予算額

会計	予算額	前年度との比較	一般会計や基金からの繰入額	
特別会計	国民健康保険会計	5億5636万円	-1841万円	5999万円
	〃 大井沢歯科診療所	266万円	-97万円	185万円
	公共下水道事業会計	1億8110万円	78万円	1億2067万円
	農業集落排水事業会計	2861万円	126万円	2292万円
	寒河江ダム周辺施設管理事業会計	350万円	-40万円	0円
	後期高齢者医療会計	9164万円	621万円	2886万円
	介護保険会計	7億4675万円	1304万円	1億1554万円
	宅地造成事業会計	1459万円	0円	0円
企業会計	病院事業会計	7億7432万円	2240万円	2億5000万円
	水道事業会計	3億2620万円	1719万円	4339万円



【町長の施政方針より】
 町の財政は地方交付税等に大きく依存し、国の政策に左右されやすい脆弱な構造です。それが好転する見通しが持てない中では、減少傾向にある財政調整基金等の取り崩しに依存した行財政運営から早期に脱却する必要があります。そのためには歳入に見合った歳出へと転換を図り、健全な財政運営の堅持のため、スリムな組織体制のもと効率的な行政執行を実現することが重要と考えます。
 ※グラフは総務課が作成した資料に基づく。(平成29、30年度は決算額、令和元年度以降は推計)
 ※減債基金とは、町債として借りたお金の返済や、その信用の維持のために設ける基金。

すべて全員賛成で可決

第1回定例会に提出された主な議案と審議結果

議案番号	件名・主な内容（氏名の敬称略）
同意第1号	町監査委員の選任 高橋将（吉川） 任期満了に伴うもの。
同意第2号	町有林運営委員会委員の任命 荒木周一（間沢）、松田昌一（吉川） 任期満了に伴うもの。
同意第3号	町農業委員会委員の任命 高橋春二（吉川）、工藤正章（吉川）、阿部栄蔵（吉川）、佐藤達郎（大井沢）、小西仁（海味）、佐藤澄子（水沢）、佐藤重美（睦合）、佐藤淳一（睦合）、佐藤義美（入間）、菅野與一（間沢） 任期満了に伴うもの。
同意第4号	人権擁護委員候補者の推薦 大泉頼成（水沢）、奥山茂喜（海味） 任期満了に伴うもの。
議第1号	町職員の服務の宣誓に関する条例の一部を改正する条例の制定 会計年度任用職員制度の導入に伴い、規定を整備するもの。
議第2号	町特別職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例の制定 町長、副町長、教育長の給料月額をそれぞれ10%、5%、3%削減するもの。
議第3号	議会議員その他非常勤職員の公務災害補償等に関する条例の一部を改正する条例の制定 会計年度任用職員制度の導入に伴い、規定を整備するもの。
議第4号	町一般職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例の制定 時間外勤務手当の基礎額の改正と等級別基準職務を整理するもの。
議第5号	町印鑑条例の一部を改正する条例の制定 印鑑登録証明事務要領の一部改正に伴い、規定を整備するもの。
議第6号	町営住宅管理条例の一部を改正する条例の制定 民法の一部改正に伴う関係法律の整備等に関する法律の施行に伴い、規定を整備するもの。
議第7号	町道路の構造技術的基準等を定める条例の一部を改正する条例の制定 道路構造令の一部を改正する政令の施行に伴い、規定を整備するもの。
議第8号	町特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例の制定 ※特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準の一部を改正する内閣府令の施行に伴い、規定を整備するもの。
議第9号	町家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例 議第8号と同じく規定を整備するもの。
議第10号	元年度一般会計補正予算（第4号） 48億3799万1000円（1億207万9000円減額） 各事業の確定等による事業費の精査に伴う補正（詳細の掲載を省略）
	繰越明許費（翌年度に繰り越して使用する経費）の確定 園芸振興対策事業 2187万1000円 農村地域防災減災事業 56万円 観光施設管理整備事業 2315万円 社会資本整備総合交付金事業 1500万円 教育用コンピュータ整備事業 2062万4000円
議第11号	元年度国民健康保険特別会計補正予算（第2号） 5億8303万1000円（2000万円追加） 高額療養費
	元年度後期高齢者医療特別会計補正予算（第1号） 8564万3000円（21万5000円追加） 返還金
議第12号	元年度介護保険特別会計補正予算（第3号） 7億7271万9000円（460万5000円追加） 居宅介護サービス給付費ほか
議第39号	元年度水道事業会計補正予算（第2号） 資本的収入の予定額5967万7000円（1180万円減額）
発議第1号	新たな過疎対策法の制定に関する意見書

ここに注目！
4ページ参照

なぜ1億円以上の減額補正予算か

令和2年 第1回定例会

令和2年第1回定例会では、町から2年度各会計予算（10会計）のほか、人事案、条例案、補正予算案など28議案が提出され、慎重に審議した結果、全議案を可決しました。一般質問は7人の議員が11件について行いました。また、議員発議で国に対する意見書の提出を上程し、可決しました。

問 元年度一般会計補正予算を1億円以上減額したことに対し、各議員が補正の理由などを質問しました。その主なものを紹介します。

プレミアム付商品券

問 消費税率引き上げに伴い国が実施したプレミアム付商品券の対象者※の数と交付率はどれくらいでしたか。

答 対象者1118人のうち400人が購入し、購入率は35.8パーセントでした。 ※対象者は住民税非課税の方と小さな乳幼児のいる子育て世帯です。



▲商品券（3月15日で利用終了）

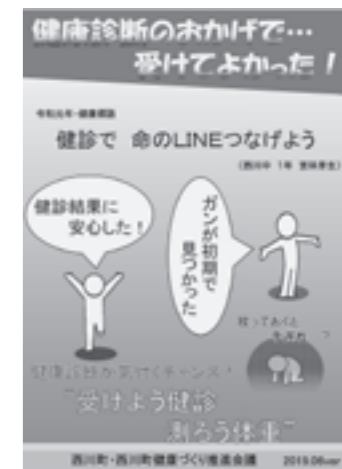
問 購入率が4割にも満たない要因をどう分析していますか。

答 2万円と2万5000円分の商品券を購入するのに、あらかじめ現金を用意しなければならぬことが要因と思われます。他の市町村も同様でした。

問 健診委託料400万円を減額していますが、元年度の当初予算額から減額を引いた分を実績とすると、2年度の当初予算額と大きな開きがあります。その理由は何ですか。

答 2年度の当初予算額は、元年度の12月上旬の時点での実績を踏まえ、より多くの方々を対象とするよう想定しています。健診の受診率向上のために様々な方法で町民に呼びかけていますが、元年度の実績としては減額せざるを得ませんでした。

健診委託料



▲健診ポスター

問 啓翁桜苗木購入費210万円と啓翁桜条件不利地園地特別対策事業300万円をそれぞれ減額していますが、整備している園地の中に植栽条件の合わない土地があったということですか。

答 苗木購入は当初の想定まで費用がかからなかったためです。条件不利地園地特別対策事業は、国や県の補助事業対象外の場所に対し、町単独の予算で事業が実施できるよう準備していましたが、補助事業に該当したため減額するものです。

啓翁桜の園地整備

問 繰越明許費の観光施設管理整備事業2315万円はどのような内容ですか。

志津温泉の新源泉

答 本事業の当初予算額は6000万円です。月山観光事業協同組合が実施した志津温泉の新源泉の掘削工事が昨年12月末で完了し、その費用7370万円の2分の1の3685万円を町が補助しました。

今後、動力ポンプの設置工事と管路工事が行われ、その費用への2分の1補助分として、残額2315万円を2年度に繰り越します。



▲志津駐車場にある新源泉

※大江廣康議員は病気療養のため定例会を欠席しています。

誰のための何のための 予算なのかを問う

令和2年度の各会計予算は、予算特別委員会(議長を除く9人の議員で構成)での審査に付託されました。予算特別委員会では、3月2日から3日間にわたり各課の説明を受け、質疑を行いました。その主な内容を紹介しします。

予算 令和2年度会計 特別委員会 【担当課説明】

病院医業収益増の根拠

問 前年度比7・9パーセント(3690万円)の増を見込んでいますが、その根拠は何ですか。

答 町立病院 数字としては努力目標という面もありますが、8月に予定している地域包括ケア病床開設に伴う収益や、整形外科の一般外来収益などの増収を見込んでいます。

地域づくり活動交付金

問 これまで町の非常勤特別職としていた区長と町内会長への報酬や、隣組長への報酬に代わるものとして、一括交付することですが、その使い方にはどのようなものがあるのでしょうか。

答 政策推進課 役員報酬に使うか、地区の活動資金に使うかは、それぞれの地区で検討していただき、町からの縛りはありません。

マイナンバーカード

問 事務負担金319万円が計上されていますが、現在の状況を踏まえ、今後の目標や広報などをどのように行うのですか。

答 町民税務課 2年3月1日現在、714枚を発行済みで、人口に対する交付率は13・25パーセントです。国からは7月まで23パーセントに上げることが目標にするよう通達が出ており、今後、広報活動などに努めます。

商品開発委託

問 農産物の特産品開発及び山菜きのこ等商品開発の業務委託にあたり、町としてはどのような商品を開発しているのでしょうか。

答 産業振興課 特産品開発の一例としては、啓翁桜を使った商品を想定しています。山菜きのこ等は、漬物や麺類などを考えています。

雪上運搬車購入

問 運搬車の仕様や性能はどのようなものですか。その運行管理は誰が行うのですか。

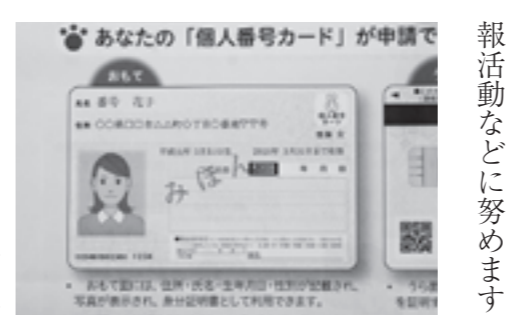
答 商工観光課 圧雪ができて、お客さまも乗せられるものを想定しています。冬の新たな観光誘客に關して広範囲での取組みを可能とするために購入します。この取組みに賛同いただける弓張平や志津などの方々で新たな組織を作り、そこに町が貸与し、その組織で管理することを想定しています。



▶ 地域包括ケア病床導入を目指す町立病院



▶ 地域活動の事例「吉川地域づくりワークショップ」



▶ マイナンバーカード(見本)



▶ 啓翁桜からどんな商品を作ろうか



▶ 導入によりスノーシュー・トレッキングも広範囲での実施が可能に

老人保護措置

問 養護老人ホーム明鏡荘への扶助費がありますが、1人につきいくら支出していますか。また、何人まで対応可能ですか。

答 健康福祉課 介護認定を受けていなくても、高齢による身体虚弱な方や生活支援の必要な方などが入居可能な施設です。所得に応じた個人負担をいただき、1人当たり20数万円程の扶助となっております。予算上では4、5人分ですが、現状に応じた措置を行います。

融雪遅延対策補助

問 町道除雪の際、民有地を借りて排雪していますが、その処理費用については地元の区や町内会ではなく、町が全額負担するべきではないでしょうか。

答 建設水道課 町から各町内会などに依頼し、仮置き場を提供してもらっています。地元の意見をうかがいながら元年度から補助の枠を拡大したところですので、今後の状況を見ていきます。

除雪委託方法

問 これまでに例のない小雪のため、除雪業者に対する委託料の最低保証を行いました。来年度はこれまでのように稼働時間によるのですか。今回のように最低保証を設定しますか。

答 建設水道課 今回は、記録的な小雪と暖冬によって除雪機械の出動が極端に少なかったという特殊な状況を踏まえたものです。2年度は通常どおりに戻しますが、気象状況を見ながら検討します。

町民グラウンド整備

問 照明塔やフェンス等の補修、整備の時期にきていると思われませんが、その現状と今後の考えをお聞かせします。

答 生涯学習課 フェンスや照明塔の腐食が進んでいることは認識しています。今後の補修は、部分的に行うか全面的に行うか、財源としての助成金等の有無も含め検討してまいります。

中学生英語検定補助

問 3年生を対象に英検3級の検定料を補助することですが、全員に受けてもらうのでしょうか。

答 学校教育課 基本的には全員に受けてもらいたいと考えています。ただし、3級が難しい生徒は4級を目指すなど、全員に目標を持って英語に取り組んでもらいたいという趣旨での予算です。



▶ 西村山広域行政事務組合が運営する「明鏡荘」



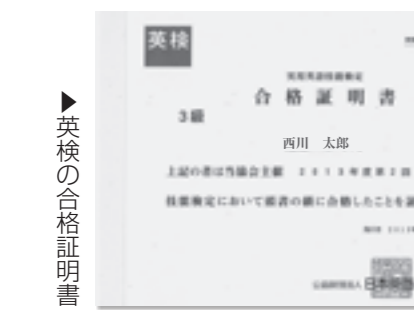
▶ 間沢地内での排雪処理



▶ 出番の少なかつた除雪機械



▶ 腐食が進んでいるフェンスの支柱



▶ 英検の合格証明書

さらにもう一歩 ふみこんで問う

3月10日、議場で予算特別委員会を開催し、令和2年度の各会計予算の審査、採決を行いました。主な質疑の内容などを紹介します。

予算 令和2年度会計 特別委員会 【審議・採決】

会計年度任用職員制度

問 新たに導入する会計年度任用職員制度の報酬の金額は、短時間勤務などによって以前の賃金よりも減少するのではないですか。

答 総務課
今までの臨時職員は基本的に7時間勤務で契約しています。フルタイム(7時間45分)の方はいません。時間単価は上がるので相対的に報酬の金額は増えると考えています。

まちづくり応援団

問 まちづくり応援団は団員の高齢化が進み、活動の広がりもよく見えません。若い団員をもっと増やし、町にとって良い方向に持っていくべきではないですか。

答 政策推進課
現在の団員数は270人です。今後は若い方の加入促進を図るとともに、団員の人脈を活かすなどして町の発展につないでいきたいと考えています。

園芸作物振興対策

問 啓翁桜の植栽に力を入れていますが、不適作地もあるように思われます。栽培に向かない土地はどうするのですか。目標面積は確保できますか。

答 産業振興課
今植え付けている場所は全て大丈夫です。これから植栽する下山地区は土壌を改良して行う予定です。目標面積の36・6ヘクタールの確保は目指がついていきます。

鳥獣被害対策

問 近年、クマやイノシシ、サルなどによる農作物の被害が増加しています。電気柵等の補助を増やしてもよいのではないですか。

答 産業振興課
果樹等の生産額が減少したなど直接的な被害額は少なくなっています。鳥獣被害対策実施隊の出動回数はいくつかあります。電気柵等の補助は、3アール以上の農地を持ち、販売も行なっている農家を対象としています。

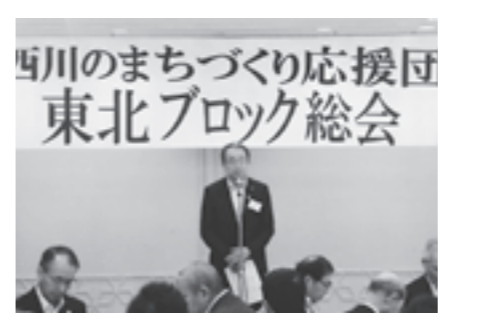
志津会館建設

問 志津会館の建設が予定されていますが、場所の選定や建設費用の財源確保はどうなっていますか。

答 商工観光課
建設する場所は2年間にわたって検討してきた経緯があり、地元の要望も受けて現在と同じ場所になりました。財源は辺地対策事業債(※)を活用し、地元負担はありません。



▶会計年度任用職員への町長訓示



▶東北ブロック総会であいさつに立つ議長



▶海味地内の啓翁桜の園地



▶海味地内で目撃された2頭のサル



▲現在の志津会館

※辺地対策事業債とは、法律に基づき、山間地などの公共的施設の総合的な整備計画のもとに実施される事業に対して認められる特別の借入金。

けんこう弁当調理

問 けんこう弁当調理業務委託の競争入札が予定されていますが、町外の業者も対象ですか。町内の業者が望ましいのではないですか。

答 健康福祉課
業者選定の上で競争入札を実施するにあたり、単価の引き下げなど経費を削減する予定です。町内業者を優先的に選定したいと考えています。

保育料の無償化

問 3歳から5歳までの保育料無償化の対象者は89人ですが、給食費の半額助成なども含めて複雑でよく分かりません。全て無償化してはどうですか。また、今後の保育園の民営化を考えていますか。

答 健康福祉課
保育料と給食費については誰が見ても分かりやすい制度にしていきたいと考えています。また、町が責任をもつて子どもを育てるべきであり、民営化は考えていません。

子育て応援米廃止

問 子育て応援米の経費が計上されています。町は必要性を強調していたのに廃止するのですか。

答 健康福祉課
これまでギャバの効果が見込める発芽胚芽米入りの米を子どものいる家庭に提供してきました。しかし受取りを拒否される方もおり、去年の10月から独自に給食費の半額を助成していることから、全体的に見直しを行いました。



▶令和2年4月1日「けんこう弁当」



▶おにぎりつくり体験の様子「ちゃんと炊けたかな」



▶これが最後の子育て応援米?

本会議及び予算特別委員会における会計毎の採決の状況

会計	認定の状況		
	議案番号	本会議	予算特別委員会
一般会計	議第15号	可決 (全員賛成)	可決 (全員賛成)
特別会計	国民健康保険会計	議第16号 可決 (賛成多数) ※	可決 (賛成多数) ※
	公共下水道事業会計	議第17号 可決 (全員賛成)	可決 (全員賛成)
	農業集落排水事業会計	議第18号 可決 (全員賛成)	可決 (全員賛成)
	寒河江ダム周辺施設管理事業会計	議第19号 可決 (全員賛成)	可決 (全員賛成)
	後期高齢者医療会計	議第20号 可決 (全員賛成)	可決 (全員賛成)
	介護保険会計	議第21号 可決 (全員賛成)	可決 (全員賛成)
	宅地造成事業会計	議第22号 可決 (全員賛成)	可決 (全員賛成)
企業会計	病院事業会計	議第23号 可決 (全員賛成)	可決 (全員賛成)
	水道事業会計	議第24号 可決 (全員賛成)	可決 (全員賛成)

(※反対者：佐藤光康)

一般質問

そこが聞きたい

7人の議員が町政をたずねます

町政全般にわたり、その課題等について町の考え方や疑問をたずねるのが一般質問です。議会だけでなく、質問と答弁の内容を要約してお伝えしています。



質問事項 (発言順)

- 荒木 俊夫 議員**…………… P11
 - 1 若者の定住対策について
 - 2 空き家対策について
- 佐藤 耕二 議員**…………… P12
 - 1 危機管理体制の充実を求めて
- 佐藤 仁 議員**…………… P13
 - 1 西川町が目指す今後の観光産業について
 - 2 睦合公園の今後の方向性について
- 菅野 邦比克 議員**…………… P14
 - 1 旧西部中体育館無償譲渡の再検証
- 大泉 奈美 議員**…………… P15
 - 1 協働のまちづくりの更なる推進
 - 2 デマンド交通対策の取り組みは
- 佐藤 光康 議員**…………… P16
 - 1 国民健康保険税の引き下げを
 - 2 西川町の学校教育について
- 伊藤 哲治 議員**…………… P17
 - 1 後期基本計画の初年度を振り返り今後の対応は

傍聴席からひとこと 【白田 昭穂さん/吉川】

今回初めて傍聴させていただいたことをきっかけに、過去の議会だよりを読み返してみました。近松前町長が勇退されたちょうど10年前、ある議員が一般質問で、「人口減少、出生率減少で町の自立は難しいのでは？」と発言されました。この10年間で、小学校や町民体育館の新築など明るい話題はたくさんありますが、この問題に関しては益々深刻さが増しているように思われます。議会や役場の皆さんと共に、町民全員で取り組むべき最重要課題だと改めて感じました。

※第1回定例会の傍聴者は延べ10人（前回比4人減）でした。

若者の定住対策について 町長 重点事業として取り組む



荒木 俊夫 議員

「住んでいたい夢のあるまちづくり」には、町の活力を保ち、維持発展させるための若者の定住が重要です。その対策について質問します。

雇用・就労対策

問 町内の職場確保や町外へ勤務する就労者対策を充実すべきですが、令和2年度にはどのように事業を展開しますか。

答 重点事業として、特に若者の住宅対策に一体となって取り組めます。



「婚活関連イベント」クリスマスリースづくり

出会い・結婚対策

問 民生児童委員や結婚相談員だけでなく、町全体で取り組むべきではないですか。

答 町民の協力を得て町全体でPRや広域的なイベント等に取り組めます。

病児・病後児保育対策

問 保護者の勤務時間確保や看護の負担軽減を図るために、病児・病後児保育を実施すべきではないですか。

答 小児科医の協力が必要であり、広域での検討を進めます。

高校生通学対策

問 高校生の通学のため、町営バスの増便や運賃の無料化に取り組むべきではないですか。

答 寒河江線、県立河北病院線、左沢線を運行していますが、増便や無料化については公共交通対策会議の中で検討します。



▲4月1日から乗換が不要になった県立河北病院行きのバス

町長 前向きに取り組む 空き家対策について

法整備対応等

問 空き家等対策の状況や町民へ丁寧な説明し、法律等の制度改正や財政支援を国や県へ強力に要望すべきではないですか。

答 空き家の適正管理に努めるとともに、安全管理や空き家の利活用も含め前向きに取り組んでいきます。

7人の一般質問

7人の一般質問



佐藤 耕二 議員

ハザードマップ

寒河江ダムの緊急放流に伴う洪水エリアマップの策定の予定はありますか。それをどのように活用しますか。

平成31年3月に県から浸水想定区域が発表され、令和2年度に全戸配布します。自主防災組織の訓練での活用や町長と語る会での説明を予定しています。

大規模地震への対応

山形盆地断層帯を震源とするマグニチュード7・8の地震発生の可能性がります。その対応を町はどのように想定していますか。積極的に全町的な訓練を行うべきではないですか。また各避難所への備蓄状況はどうですか。

大規模地震災害を想定した総合防災訓練を行っています。また、各区の自主防災組織でも訓練を行なっています。統一した訓練の実施も検討します。備蓄については、アルファ米を西川交流センターあいべに150食、各避難所に50食ずつ備えています。毛布は町全体で1200人分を備えています。



戸別受信機

戸別受信機

防災行政無線はきちんと機能していますが、戸別受信機がよく聞こえないとの苦情があります。乾電池の交換や風によるアンテナの向き修正は誰が行うのですか。

高齢者世帯の訪問時に確認します。乾電池は個人負担ですが、アンテナの向き修正は町が無償で行います。今後、対応を町内会長と協議します。

差し迫る不安

今冬の小雪と新型コロナウイルスによる影響への対策はどのように行なっていますか。対策本部は設置したのですか。

小雪に関しては、月山スキー場のオープンを2週間早めたり、観光業者に予約のキャンセル状況の聞き取りなどを行なったりしています。また、除雪業者に対して過去5年間の平均の委託料の30%を保証します。新型コロナウイルス感染症の対策連絡本部を2月27日に設置し、随時対応しているほか、3月2日から小中学校を臨時休校としました。

危機管理体制の充実を求めて

町長 統一的な訓練を通じて対応する

昨年は、異常気象に伴う台風や地震等が多発しました。西川町は比較的安全な町との認識がありますが、いざ災害が起きた時の危機管理体制は大丈夫なのか確認します。



寒河江ダムの放水路

町が目指す今後の観光産業について

町長 雪を活用した通年観光と総合産業化を図る

月山ペアリフトの今後

使い始めて32年になる今のリフトを修理しながら営業を続けていますが、新設等も含め、今後の方向性をお聞かせします。

昨年行なった可能性調査で「60人乗り程度のロープウェイが最適」との評価が出ました。ただ、膨大な費用が必要であり、費用対効果など難しい課題も多くあります。

費用対効果については営業期間の増（3カ月間）が見込め、財源は補助金等の活用とふるさと納税、特に新・企業版ふるさと納税の運用工夫を行い、ぜひ進めてはどうですか。

月山湖の活用

町はカヌー1000メートルコース設置や大噴水の整備管理などに費用を投じてきました。それを踏まえ、今後、都市公園としての認定を受ける予定はありますか。

月山湖をはじめ寒河江川上下流の一部河川敷を含め、認定に向けて手続きを進めています。



月山サマーフェスタでの湖面遊覧

都市公園になれば国の交付金を活用して湖面でのボート遊覧やダム内部見学などのツアーを企画し、収入を得られます。また、ロープウェイ構想や月山湖の活用など町民に「夢」を提供しつつ、寒河江ダム30周年記念を祝つてはどうですか。

湖面利用の先進地の自負をもって観光を進めていきます。

睦合公園の今後の方向性について

町長 関係部署間で継続的に検討する



睦合公園

計画案にもよりますが、都市公園に對する交付金を活用し、維持費は睦合公園分に、施工費は月山湖初年度分という財源計画で進めてはいかがですか。

仮定の話として参考にし、今後検討していきます。



佐藤 仁 議員

今後、関係機関や運行会社との協議の場の設置も含め、検討していきたいと思



菅野 邦比克 議員

問 24年12月7日に無償譲渡等の契約が議決されたのに、契約締結が遅れたのはなぜですか。猶予したのではないですか。

答 契約は24年12月21日に原案を議会に示した後、年末年始休業や相手方の予定もあって、翌1月18日の締結になりました。

問 30年12月26日に本社屋の参加差押(※)をしていますが、なぜ遅れたのですか。

答 最初は滞納があったため、その後も滞納が続いたので参加差押をしました。

問 譲渡契約第11条に、契約を履行しない場合は損害賠償を町に支払うとありますが、どうなっていますか。

答 最初滞納があったため、その後も滞納が続いたので参加差押をしました。

答 滞納はありますが、社長が所在不明で、会社は現在休業中です。滞納しているのは固定資産税のみです。

問 契約の効力をあまり発揮していないと思います。税金の効果をにらみ督促しているのですか。

答 税金の督促状を代表取締役の自宅へ送付しています。

問 今後の対応を進めるといいますが、どういのですか。

答 現在は休業中のため、破産手続きを早く進めるよう担当弁護士に話をしたいと思っています。

問 破産手続きに入れば町は相当の資金を投入しなければなりません。それを町民にどう説明しますか。

答 今後の動向を見ながら対応していきます。他企業からの問い合わせもあります。

問 経緯を町民に明らかにすべきではありませんか。また、町長は責任をどのように感じていますか。

答 今回の件は手続き等も含め内容が複雑なため、もう少し明らかにした時点で考えます。それがいつになるかは未定です。

問 相手方の社長と直接会って、話を前に進める考えはありますか。

答 弁護士とも相談し今後の動向を注視していきます。社長の居場所がわかった段階で会いに行きます。



▲ 産業建設常任委員会で確認した際の体育館内の様子 (平成29年7月6日撮影)

旧西部中体育館無償譲渡の再検証

町長 時期は未定だが、いずれ明らかにする

固定資産税の疑問

問 平成25年分の固定資産税が課税漏れなのではないですか。

答 1月1日現在の所有者への課税なので漏れではありません。

協働のまちづくりの更なる推進

町長 高齢化に対する取組みに力を入れたい

互いに協力し健やかに暮らせる「全員参加型社会」の更なる実現に向けて次の質問をします。

役割の違いは

問 福祉対策に関する健康福祉課と社会福祉協議会の業務内容の分担はどうなっていますか。

答 健康福祉課は法令に基づいた健康と福祉全体の支援を、社会福祉協議会は地域福祉活動計画に基づいた民間の福祉サービスや福祉町内会の活動を、それぞれ担っています。



◀ 読み聞かせボランティア

活動の推進に向けて

問 人材育成に向けてボランティア団体や、ボランティアセンターを設置してはどうですか。

答 現状では社会福祉協議会がその機能を果たしていると考えます。ボランティア団体と意見交換をしながら協議していきます。

デマンド交通対策の取組みは

町長 令和2年度に実証実験を行う

今後の取組みは

問 デマンドタクシーの実現に向けた今後の取組みはどうなっていますか。

答 地域の意見を聞き、関係機関と協議して令和2年度に西部地区での実証実験を行います。その後、地域の実情にあった、使いやすく効率的な交通体系を構築する必要があります。

問 いつ頃から実施する予定ですか。

答 事前の協議もあるので、夏頃になるものと思います。



▲ 大江町のデマンドタクシー



大泉 奈美 議員



佐藤 光康 議員

国民健康保険税の引き下げを

町長 県や市町村の動向を見て検討する

町の一人当たりの国民健康保険税は、年額で平成24年度の6万9526円から30年度の8万6946円と大幅に上がり、被保険者にとって大きな負担になっています。この負担を軽減するために次の質問をします。

問 30年度の国民健康保険特別会計の単年度収支残額は約2460万円でした。これを被保険者に返して、保険税約2万円の軽減をしてはどうですか。

答 制度の県一本化は、まだ安定していません。状況にあります。さらに保険料水準の統一化の動きもあります。県や他の市町村の動向を見ながら検討していきたいと思っています。

問 国民健康保険税には家族一人ひとりに課す均等割があり、子どもにも年額3万4600円が課せられます。町の国保の基金を活用して子どもを減免してはどうですか。

答 町が単独で行うのではなく、制度の見直しについて国にしっかりと要望を出していきたいと考えます。

保険税負担の軽減を



伊藤 哲治 議員

後期基本計画の初年度を 振り返り今後の対応は

町長 より効果的な取り組みを行う

西川町は、第一次産業に乏しいばかりか、新しい産業や雇用を創出することは至難の業です。今まで経験したことのない厳しい現実と社会環境を直視する限り、今後の町に行く末に危機意識を持たざるを得ません。そのことをふまえた次の質問をします。

地方創生の成果は

問 まち・ひと・しごと創生総合戦略の第1期の成果をふまえて、最重要目標として掲げた人口5000人と世帯数1600戸の確保を、現実に即して修正する考えはありますか。

答 それぞれの分野で一定の成果があったと捉えています。人口と世帯数が現状のまま推移すると、最重要目標の達成は難しい状況です。より効果的な取り組みを行う必要がありますが、夢や希望を込めた大きな目標にするため、現時点で最重要目標の数字を変えることはしません。

西川町の学校教育について

町長 体験的学習を一番大切にしている

学校教育の課題などについて質問します。

少人数学級の適用を

問 県は学力向上や良質な人間関係を目的に少人数学級を推進する「さんさん」プランを実施していますが、町内の小中学校は1クラス40人近い学級が少なくありません。県に対してプランの適用を求める要望をしていますが。

答 小規模校を含めた全ての学校に少人数学級を適用するよう山形県町村会、市町村教育委員会などで県に要望しています。

学力テストの影響

問 全国学力テスト導入で学校はテスト対策を強いられ、本来の学びができなくなりつつあります。町は、一人ひとりの子どもを大事にする教育を目指すべきでないですか。

答 学力テストの結果でいたずらにプレッシャーを与えるようなことはしていません。西川学園構想では体験的学習の充実を一番大切にしています。

教員の働き方

問 教員の通常勤務時間を延長し、かわりに夏休みなどの勤務時間を縮めて1年単位の变形労働時間制を導入できる法改正がありました。これを導入する予定はありますか。

答 その予定はありません。

教育環境の充実

問 保育園や小中学校における給食費の全額無料化が2000万円程の予算で可能なのであれば、トップの考え一つで実施できると思います。検討する余地はありますか。

答 教育環境の充実のため、今は特に英語教育に力を入れていきます。保護者の負担軽減をしないわけではありませので、今後意見なども聞いていきたいと考えます。

農地の維持

問 町における水田農業従事者の高齢化に伴い、田畑を手放す方々が増えています。町の対策と今後の方向性をうかがいます。

答 地域の方々の協同によるところが一番大事であり、人・農地プランの取組みの強化が重要です。また、農業法人化の取り組み強化を積極的に進めることも大切です。総合的な農業振興の取組みを強化しながら、農地の維持に努めます。

第3セクターの今後

問 水にこだわったまちづくりをめざす町にとって西川町総合開発(株)は重要な第3セクターです。今後の事業運営をどのように考えていますか。

答 今後、月山自然水事業及び地ビール事業では、大沼の自己破産による影響も懸念されますが、自社ブランド製品の販売促進に努めていただき、水にこだわったまちづくりのシンボル事業として町も推進していきたいと考えています。



▶ 中学校の1クラス40人の教室



▲ 西川小学校の給食の様子



▲ 月山自然水と地ビール



▲ワールドカフェの様子

議会の動き

議会全員協議会

- 2月17日 令和2年度予算内示ほか
- 3月5日 まち・ひと・しごと創生総合戦略(案)ほか

議会運営委員会

- 2月17日 令和2年第1回定例会の運営
- 3月4日 一般質問回答保留の取扱い

総務厚生常任委員会

- 3月5日 令和2年度所管事務事項検討ほか

産業建設常任委員会

- 3月5日 令和2年度所管事務事項検討ほか

広報公聴常任委員会

- 3月4日 112号編集会議
- 3月17日 入稿前編集会議
- 3月26日 第1回校正
- 3月31日 第2回校正
- 4月3日 第3回校正
- 4月7日 第4回校正、校了

予算特別委員会

- 3月6日~10日 令和2年度予算審議、採決

その他

- 2月14日 県町村議会議長会定期総会
- 2月20日 西川町議会研修会

議会の傍聴にお越しく下さい

面倒な手続きは何もありません。
ぜひお気軽に！
次回定例会は6月です
(6月3日からの予定)

議場で行う本会議や特別委員会はインターネットで中継しているほか、過去の映像を視聴することもできます。ぜひご覧ください。

常任委員会の取組みから

令和2年度の政策提言に向けて

3月5日に開催した総務厚生、産業建設常任委員会では、元年度の政策提言に対する町の回答内容をふまえ、2年度の所管事務事業の調査項目を協議しました。今後、行政評価や行政視察研修、対話の集いなどの議会活動と連携させ、秋をめどに、町への政策提言を行う予定です。

人口減少対策

合計特殊出生率が1・20にも届かない町の現状をどう捉え、今後の対策を打ち出していくのか、課題は何かを調査、検討します。

子育て支援対策

「子育てするなら西川町で」とアピールする町の支援対策について、結婚・出産・子育てしやすい環境の整備をどう図っていくのか調査、検討します。



▲効率性と経済性が求められる路線バス

保健医療福祉対策

急激な人口減少と高齢化に伴い、医療費の増加が避けられない現状と課題について調査するとともに、福祉対策の充実について調査、検討します。

元年度政策提言の事項

政策提言を行なった「地域公共交通網の整備促進」について、町民の足の確保を町として今後どう進めるのか検証、調査します。

産業建設常任委員会

分かりやすい仕組みづくり
総合産業推進の役割を担う事業所を、西川町総合開発(株)だけに限定せずに、町商工会や既存の事業所との連携などを強化すべきであり、その可能性について調査、検討します。

総合産業化

政策提言への町からの回答を踏まえ、引き続き総合産業化について調査、検討します。

総合産業を進める背景

町は、町民の生活基盤の確立に結びつける産業にしたいとの認識に立って総合産業化を進めるとしています。そのための施策の展開について調査、検討します。



▲秋田県五城目町活性化支援センターで起業した美容室

起業支援の拠点整備

元年度の行政視察で訪問した秋田県五城目町の取組みを参考に、廃校舎など既存施設を活用した公設オフィスの設置や、キーパーソンになり得る起業者の募集、起業者同士の相互連携による組織づくりの支援など、町の活性化につながるような施策の展開について調査、検討します。

新しい対話の形を学ぶ 令和元年度西川町議会研修会

二月二十日、町議会研修会を開催しました。今回は、青森中央学院大学准教授で早稲田大学マニフェスト研究所招聘研究員の佐藤淳先生を講師に迎え、「対話で創る議会改革第2ステージ」と題し、講演とワークショップの二部構成で行いました。第一部の講演では、

本町の議会改革の現状をふり振り返りながら、今後、目指すべき方向性を確認するとともに、昨年度に学んだ「チーム議会」の意義と重要性を再確認できました。第二部のワークショップは、平成生まれの町職員とともに「十年後の西川町の未来」について意見交換を行いました。

今回は初めて「ワールドカフェ(※)」を取り入れられました。BGMの流れる中、リラックスした雰囲気で行う対話の形は、様々な場面に活用できるものと考えられ、議会としても町民のみならずとの対話に取り入れていくことを検討していきます。

西川町議会だより107号が、元年度の町村議会広報全国コンクールにおいて、入選に次ぐ奨励賞を受賞しました。また、同109号が県町村議会広報コンクールにおいて、2年連続入選を果たしました。全国コンクールの入賞は初めてのことで、もちろんコンクール入賞を

今後の大きな励みに 議会広報全国コンクール初入賞

目指すことが議会広報づくりの目的ではありませんが、広報紙として一定の評価を得たことは大きな励みになります。今後とも町民のみならずから「手に取ってもらい、開いてもらい、読んでもらえる」議会だよりの充実に努めます。



▲議長、副議長と広報公聴常任委員

知りたい!!聞きたい!!

～議会だより111号の アンケートより～ 読者モニターの広場

西川町議会だより読者モニターの皆さまからたくさんのご意見などが寄せられました。その中のいくつかを広報公聴常任委員からの回答とともに紹介します。



I.Tさん

【西川中学校2年生による模擬議会の記事を読んで】

子どもたちの意見がきちんと形になって生かされることで、きっとまちづくりに興味を持つ子どもたちが増えると思います。今後検討の上、実現されることを願います。

今回の模擬議会で提示された中学生のみなさんの意見を尊重し、町がきちんと対応するよう議会としても注視していきます。



F.Tさん

【「傍聴席からひとこと」を読んで】

いつも議会傍聴者が少ないと聞きます。町民を傍聴に仕向ける方法はないのでしょうか。また、インターネットで視聴している人の現状はわかりますか？

傍聴しやすくするために、全国には休日や夜間に本会議を行う議会もあるようですが、西川町議会での実施予定はありません。平日、日中に傍聴できる方々にきちんと宣伝をしていきたいと思っています。インターネットでの視聴はどれだけの方が閲覧されているのか確認できませんが、中継をご覧になった方から声をかけていただいた議員もいるようです。



I.Tさん

【事務事業評価の記事を読んで】

各町内会の児童遊園の遊具が老朽化し、使用不能が多々あります。早急の対応が必要です。

公園並びに児童遊園に関しては、日常的な維持管理だけでなく全体的な見直し等も町に求めていきたいと考えています。



I.Sさん

【第4回定例会の記事を読んで】

「連携中枢都市圏の形成」がどういったことなのか全くわかりません。「※プレミアム付き商品券」のように注釈があれば内容がわかって良いと思います。

連携中枢都市圏は国の新たな政策として始まったものです。紙面の都合上、詳細な説明を省かせていただきました。今後、何らかの動きがあった際にきちんと説明させていただきます。



ご感想をお寄せください

西川町議会では10人の町民の皆さまに議会だよりの読者モニターをお願いしています。アンケートにより寄せられたご質問やご意見には、きちんとお答えするよう心がけています。読者モニター以外の方でも、議会や議会だよりについて「知りたい!聞きたい!」という場合は、お気軽にお問い合わせください。

ファクシミリ 74-2601

メール giji@town.nishikawa.yamagata.jp

委員	委員	委員	副委員長	委員長	議長
佐藤 仁	菅野 邦克	大江 廣康	佐藤 光康	大泉 奈美	古澤 俊一

《発行・編集責任者》

《編集委員》

令和2年第1回(3月)定例会では、町から提示された2年度当初予算案の説明が各課からあり、身近なものや将来を見据えたものなど、議会と執行部(役場)との白熱した審議を経て採決を行い、予算が成立しました。

今回の予算審議を終えて思ったのは、議会と執行部との立場は違えども「垣根を越えて思いは一つ、西川町のため」であること。今後の予算執行状況を注視していきたいと思えます。

新型コロナウイルスで大変な時ではありますが、課題を一つ一つ解決し、「西川町に住んでいて、わくわくし、楽しくなるような町づくり」を一緒に進めて行きますよう。(佐藤 仁)

編集後記